

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 23 年 7 月 8 日(金)

第 13 号

発行人 校長 鈴木史良

ハッサン君の話

— 「ハッサン君の話」から見えてくるもの —

今日はイラクに住む 18 歳の少年ハッサン君の話をしたい。今イラクではテロによる社会の乱れや家庭の崩壊などから、小学校 3、4 年で学校をやめ、ストリートチルドレンになっている子どもが多いという。赤信号で車が止まったりしたときにどこからともなく現れた子どもたちが車の窓を洗い流し、わずかのお金をもらって暮らしている。ハッサン君もその中の一人だった。仲間と盗みをしたり、平気でものを壊したり、けんかで血を流したり、相当悪いことをやってきたらしい。

世界の四大文明の一つ、メソポタミヤ文明の発祥地域にあるイラク。首都のバグダッドはイスラム帝国の中心地として、かつては国際都市としての栄華を誇っていました。しかし、近年は数度の戦争を経て治安が乱れ、テロが横行する危険な国になってしまいました。国が荒廃すると同時に、人々の心も荒廃していきます。戦争やテロで親を失った子どもたちの多くは、ストリートチルドレンと呼ばれる都会の浮浪児となって非行を繰り返します。社会も荒廃しているので、子どもたちを救うことが難しいのです。「ハッサン君」もそんな中に育ちました。社会の乱れによって自分の将来に夢をもつことができず、家庭の崩壊によって家族の愛情を十分に受ける機会もなく、小学 3、4 年生で学校をやめることによって、友達や先生から励まされたり認められたりする喜びもないまま成長したのです。このような子どもたちは、次の 3 つを否定する傾向が見られます。

(1) 自己否定 (2) 将来の否定 (3) 社会の否定

このような傾向をもつ多くの子どもたちは、自己評価が低く、ゆがんだ価値観をもちやすくなります。

そのハッサン君が保護施設に収容されたことがきっかけで高飛び込みを習うことになった。最初は嫌々だったが、やっているうちにだんだんうまくなっていく自分に気づき、いつの間にか大好きになり、夢中になって練習に打ち込んだ。最近では、高飛び込みの競技会で優勝するほどの腕前になった。今では同じ施設にいる年下の子どもたちの面倒を見たり、施設の部屋をきれいに掃除したりしている。そして将来は、不幸な子どもたちのために自分も何かできることをしたいと考えている。

保護施設に収容されたハッサン君。初めは嫌々だった高飛び込みでしたが、だんだんうまくなっていく自分に気づき というように自分でもできるという自信が芽生えました。また、いつの間にか大好きになり というように、自己否定から自己肯

定へ変わっていきました。更に、高飛び込みの競技会で優勝というように、周囲から認められるようになったのです。このようになるまでには、ハッサン君の一生懸命な努力があったことでしょう。しかし、そうなるようにハッサン君を支えた信頼できる人々（施設の先生方や仲間たち）がいて、ハッサン君に親身な愛情を注いだに違いありません。きっとハッサン君もそのことに気づいたからこそ、一生懸命に頑張ることができたのではないかと思います。また、自分を変えることができたからこそ、周囲の人々に感謝の気持ちをもつことができたようになったのではないかと思います。同じ施設にいる年下の子どもたちの面倒を見たり、施設の部屋をきれいに掃除したりしている。そして将来は、不幸な子どもたちのために自分も何かできることをしたいと考えている。このことは、社会への憎しみから社会への感謝、社会に貢献したいという気持ちに大きく変化したハッサン君の心を表しています。

以上の「ハッサン君の話」から、君たちが生きていくのに大切にしたいことが見えてきます。

- 1 親の愛情を感じることに
- 2 友達や先生に自分を認めてもらうことに
- 3 自分に自信をもつことに

ハッサン君はこう言っている。「ストリートチルドレンだった頃はだれも自分のことを人間扱いしてくれなかったけど、今は一人の人間としてみんなが自分を認めてくれる、それがいちばんうれしい」と。

ある日の授業風景 1年社会科「文明の発生と東アジア世界」 授業者 持田芳忠

「えっ、王様だけなの？」

ピラミッドには、複数の人が葬られていると予想していたAさんは、ピラミッドが王やその一族の墓だという友達の発表を聞いて思わずつぶやきました。Aさんのつぶやきを受け、みんなで改めてピラミッドの断面図で確認しました。確かにピラミッドには王や王妃の部屋はありますが、その他の人々の部屋はありません。

「こんなに大きいのに、王様や一族のためだけなんて…。」

クフ王のピラミッドは一辺 223m、高さ 146m、平均 2.5 トンの石を 230 万個も使用してつくられたこと、できたころは表面が石灰岩でおおわれていて、美しかったであろうことなど、このAさんのつぶやきは、それ以前に出された友達の発表内容をさらに深めていくものとなりました。

「どうやってつくったのだろう？」とさらに思いを膨らめていくBさん。友達の思いを生かしたつぶやきが、古代文明の魅力に迫っていく原動力となりました。

ピラミッドには、まだまだ不明な点が多くあり、墓ではないという説もあります。新たな発見で、歴史は変わっていくかもしれません。

